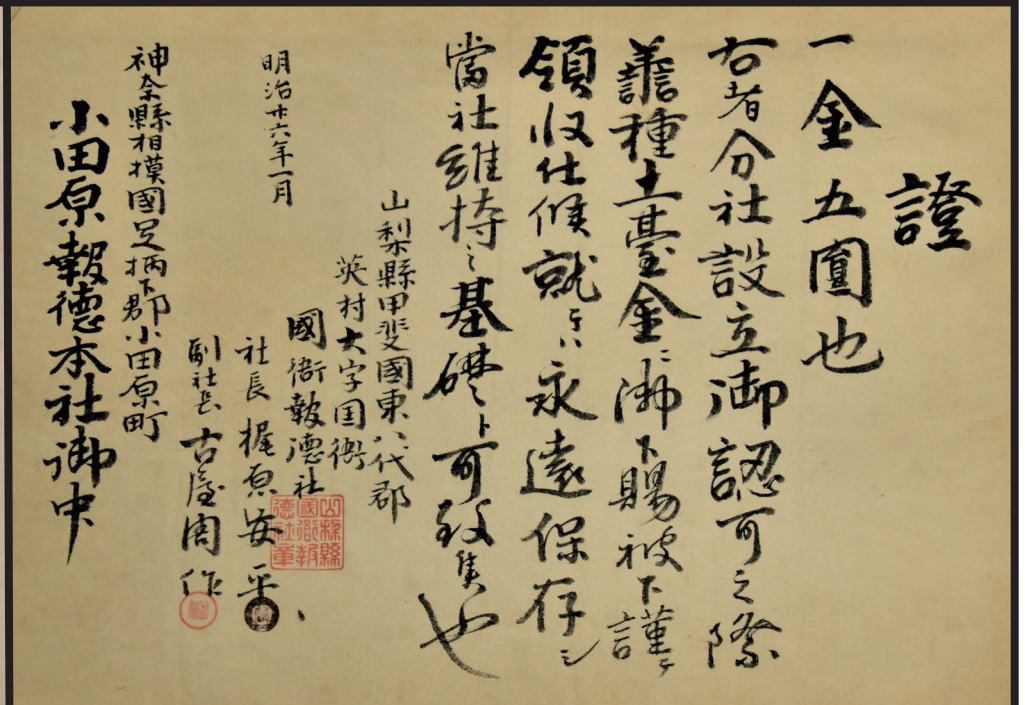
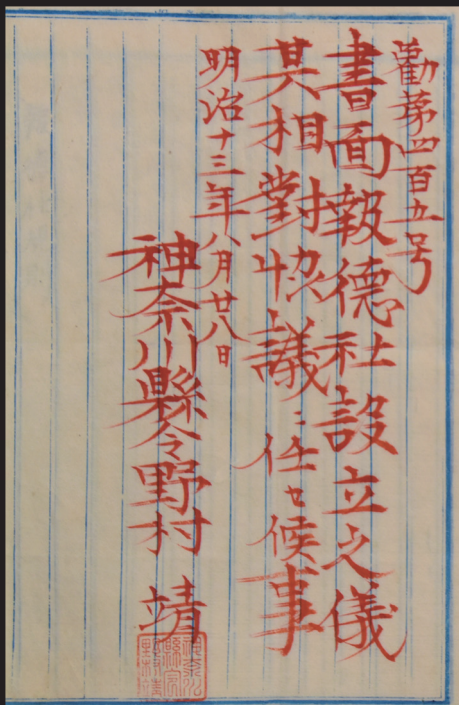


令和4年度 金次郎を学ぶ会

広がる報徳の輪

—小田原報徳社とその支社たち—



日 時: 令和4年7月10日(日) 午後1時30分~3時00分

会 場: 小田原市尊徳記念館 3階 講堂

主 催: 小田原市教育委員会

入場無料(定員100名): 先着順、当日会場まで直接お越しください

お問い合わせ: 小田原市尊徳記念館 0465-36-2381

※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用、手洗いと検温にご協力ください。

概要

江戸時代後期、小田原宿は度重なる火災や周辺地域との競争の影響で衰退していました。そこで宿場の人々は、各地の農村復興で成果をあげていた二宮尊徳に助けを求めました。尊徳からの助言と資金提供を受けた人々は、「小田原宿報徳社（のちの小田原報徳社）」という組織を立ち上げ、お互いを経済的に支え合うための活動を始めます。

小田原報徳社の活動が周辺に知られていくと、静岡県や山梨県などで同社を参考とする「報徳社」が結成されていきました。小田原報徳社はそれらの報徳社に対し資金援助や指導を行い、その活動を支えました。

尊徳の影響を受けてはじまり、近代に発展していった報徳社という組織について、その原点である小田原報徳社とその支社たちを中心に探っていきます。

◎表面掲載の資料

- 左上：小田原宿報徳社の再興に貢献した里見久蔵と福山瀧助の出た里見家
（『報徳と小田原』 城内国民学校 1942）
- 右上：小田原報徳社の社長を務めた添田理平治の「添田呉服店」
（『報徳と小田原』 城内国民学校 1942）
- 左下：報徳社設立願書ならびに報徳社規則
（小田原市立図書館寄託 添田家文書）
- 右下：「善種土台金」の受領証
（小田原市立図書館寄託 添田家文書）



◎小田原市尊徳記念館アクセス

住所：〒250-0852

神奈川県小田原市栢山 2065-1

電車：小田急小田原線栢山駅または富水駅から徒歩 15 分

自動車：東名高速道路大井松田 IC から約 10 分

小田原厚木道路小田原東 IC から約 10 分